



子どもも大人も一緒に考えよう、私たちのまちのこと。



CONTENT

- ◆たかとり 花いっぱい物語
- ◆#まち活  
コミセンギャラリーで  
個性あふれる人、作品に出会う

特集

～世代や地域を越えて～  
つながりから始まるまちづくり

ふりひめ すと  
振媛の郷  
たかとり  
NO.37  
2023.10.11 発行

発行 / たかどりの郷づくり協議会・高椋東部コミュニティセンター  
編集 / たかとり広報委員会 (坂井市丸岡町飯倉45-47) Tel&fax 0776-66-4422  
http://takatorinosato.net



たのしみ・かんがえる・とりくむ

# #まち活

- MACHI KATSU -

## ふーちゃん Café ギャラリー

高椋東部コミュニティセンター

10月  
末まで

酒井 康恵 さん(丸岡町)による  
『パッチワーク展』を開催しています。  
(高椋東部コミセンInstagramを見てね！)



“ふーちゃんCaféギャラリー”は、飲み物を飲みながら、  
どなたでも自由にくつろいでいただけるフリースペースです。  
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

## 新しい出会いと発見のあるフリースペース コミセンのCafé ギャラリーを 活用してください

ギャラリーに展示する作品をまだまだ募集中です！  
新しくなったコミセンギャラリーで、みなさんの  
自慢の作品を披露してみませんか。  
お問合せは、お気軽にコミセンまで。



Instagram @



TAKABOHOTOBUCC

過去の作品▶

## コミセン講座から自主サークルへ！

「たべたーい！」韓国おうちごはん(5月～8月)キム ウンチェ先生をお招きして、本場韓国の味に4回コースで挑戦しました！  
メニュー…野菜チヂミ、玉子チム、トッポギ、オイナムル、ピビン麺、サンゲタン、どの料理も大変おいしかったです。大変好評で「終わってしまうのは、寂しい！」と声が上がリ、今後も自主サークルで継続することになりました。



地区内外の旬な  
情報を発信して  
いきます



## 高椋東部子ども教室 × 明章児童クラブ ～ニュースポーツ・モルック～ 7/27(木)

モルックとは？フィンランドの伝統的なゲームをもとに開発されたスポーツです。子どもたちは、見たこともない道具を使い最初は恐る恐るでしたが、スポーツ推進員の指導ですぐにコツをつかみ、中盤からは「キャーッ！やったあ！」と飛び跳ねて楽しんでいました。

## つぶやき

福井地震から75年、震源地が地元未政ということもあり、とても身近に感じる…。  
今回の表紙にも取り上げた防災教室で避難所運営ゲーム「HUGハグ」を行った。明章小学校が避難所になり、避難者への迅速な対応をゲームで疑似体験するもので、子どもや世代の違う地域の人が意見を出し合うことの重要性と、困った人を助けるという温かい感じが、いいなあって思える時間を過ごさせてもらった。  
災害があった時は、支え合い・助け合いが大事になる！！  
両親・友達・仲間が住む、自分が生まれ育った、我が「ふるさと」をみんなの力で守っていくことの大切さを感じる時間だった。  
今度は、防災キャンプも楽しいかなね♪ (ジージーになったY)

## 高椋東部の人口

2023.9.1 現在  
( )内は 2023.3.1 現在比

世帯数 709 戸 (+2 戸)  
人口 2,130 人 (-12 人)  
男 1,055 人 (- 7 人)  
女 1,075 人 (- 5 人)



特集

# つながりから 始まる まちづくり



たかとりは、世代を越えて住民がつながり、交流できる様々な機会を創出しています。住民同士の交わりから新たな気づきや共感が生まれ、共に活動することによって生まれる一体感が、互いに認め合い助け合って暮らすことの大切さを感じることに繋がると考えます。

多様な立場の住民同士が自由に意見やアイデアを出し合い、ともに楽しくいきいきと活動に参画できるように「まちの土台作り」を目指しています。

住み慣れた場所でも  
心身ともに  
元気であるための  
取り組み。



▲自分で作った葉っぱずし、おいしかったねー!

ふるさとの食を  
伝える。  
「おいしい」の  
笑顔を広げる。



▲葉っぱずしづくりの体験で家庭での会話がはずむといいな

つながり  
02

食×伝統 『ごんぼ汁ふるまい』 5/27(土)  
『葉っぱずし体験』 6/30(金)

明章小学校6年生児童を対象に「郷土料理」を通して愛郷心を育む学習に取り組んでいます。たかとり郷づくり協議会の女性会員をはじめとする地元の方々に教わりながら、高棟東部地区の郷土料理「葉っぱずしづくり」を体験しました。また、協議会会員が講師となり、地区住民の意見をまとめた「たかどりの郷未来マップ」を教材に、郷土についてクラスみんなで意見を出し合うワークショップ形式の事前学習を実施しました。今後も食文化の継承を通して、互いに学び合える事業を継続していきます。



明章小学校の運動会時に伝承料理の「ごんぼ汁」をふるまう恒例行事。コロナ禍で中止していましたが、今年4年ぶりに復活をとげました。待ち望んでいた住民がたちがテント前に列を作り、終わってみれば大鍋2つ、約200人分があつという間に無くなりました。たかどりの郷づくり協議会では、子どもたちや若い保護者の方にも気軽にふるさとの食文化に触れてもらう取り組みを続けています。

つながり  
01

官×民×学 『健康セミナー』 5/21(日)

住民の健康づくりを応援する取り組みの一環として、福井大学および坂井市と連携した「健康セミナー」を開催しました。気候療法・地形療法を研究テーマとしている医学部の金山ひとみ先生に、気候療法の視点から病気を予防する方法についてご講演いただきました。



セミナーでは、ふるりのシンボル「鷹取山」登山でも気候療法の効果が得られることが分かりました。参加者からは「鷹取山やグリーンセンターが、気候療法の面から心も体も元気にしてくれることを知り、改めてこの地域の良さを見直すことができた」などの感想があり、身近な地域資源と健康を結びつける新しい発見につながったようです。



## つながり 04 団体×団体『しあわせネットワークづくり』5/28(日)



まずは、\*地域の現状 \*人口、高齢化率 \*地域の特性等をクイズ形式にし、高嶺東部地域について再確認しました。次に、社会福祉協議会が推進している“地域づくりの大切さ”、“地域の人たちがつながる意味”などの話を聞き、「何気ない毎日のなかで、これから少しでもアンテナを高くしていきましょう」と願いました。

わたしたち、ふくし部会では一年を通して「地域の見守り活動」を実施しています。これらの事業は区長、民生委員、福祉委員の三者でおこなっていますが、今年度は、より活動への理解を深めていただくために、初めてオリエンテーションを兼ねた連絡会を開催しました。



## つながり 05 ご近所×ご近所『福祉マップづくり』7/7(金)

毎年行っている見守り活動のための「ふくしマップ」を作成しました。このマップを活用し、お声掛けの必要な方に、福祉委員が中心となって「訪問活動」を行いました。

今年度は明章小学校にご協力をいただき、児童のみなさんに心のかもったメッセージカードを作っていただきました。心温まる絵や言葉などがみなさんに伝わり、わたしたちも大変うれしく、訪問してよかったです。ふくし部会では、今後も疎遠になりつつある地域のつながりを再構築する活動を行っていきます。



▲みんなのメッセージを届けるよ！



## つながり 03 子ども×大人『防災教室』6/25(日)



▲地域福祉について説明する、たかとの郷づくり協議会ふくし部会的小泉さん

### 子どものふりかえりシートから

- 災害があっても協力してやりたい。
- HUGではペットや病人などの対応が難しかった。
- 災害は地球温暖化の影響もあると聞き驚いた。このようなことを学んで地震や火事や土砂に気をつけたい。

個別訓練の子どもの部では、福祉マップの必要性について説明を受けました。マップには、一人暮らしのお年寄りや要支援者が記されており、こうした方々が身近に暮らしていることを知り、近所の方が普段から声掛けすることで、安心して生活が送れることを理解しました。

子どもと大人の合同訓練では、5~6名のグループで避難所開設ゲームHUGを実施し、災害時さながらの運営方法について模擬体験をしました。カードをめくる毎に刻々と変わる避難所の状況について、坂井市防災士の方からアドバイスを受け、子どもや年配者まで様々なアイデアが飛び交い、避難所運営への理解が深まっていました。

福井地震から75年を迎え、親子で参加できる防災教室を明章小学校体育館で開催しました。

明章小学校の児童・親子、区長、民生委員・児童委員、福祉委員、たかとの郷づくり会員など65名が参加し、地元 末政が福井地震の震源地とされることに触れ、共助の大切さや避難所の運営について学習し防災意識を高めました。

### 大人のふりかえりシートから

- 普段からのつながりが大切になってくると感じた。
- この地区に4年前に引っ越してきてコロナになり、地区の人とのふれあいがなく、地区にどんな人がいるのか、我が家のことを知ってくれている人がどれくらいいるかも不安。親が仕事で子どもだけになるので、これから地区の行事には家族みんなで参加して、我が家のこと、地区のことを知りたい。



『盆踊りの復活』  
人と地域をつないだ  
キーワード。



▲日没とともに会場の熱気は最高潮に！



▲ドローンで撮影、(♡)ノ  
交流の輪が広がりました



▲やぐらの上で大関音頭を披露、  
生歌も最高でした♪



今年のまつりでは、新たな交流が生まれまし  
た。坂井町大関地区のまちづくり協議会の皆さ  
んや子どもたち約20名が踊りの輪に加わり、ま  
つりに花を添えました。現在、大関地区では、  
大関小学校創立150周年の記念事業に合わせ、  
時代の移り変りにより途絶えていた「大関音  
頭」を復活させるため、様々な取り組みが行わ  
れています。

『盆踊りの復活』というキーワードによって、  
二つのまちづくり協議会や他地区の同土が地  
域を越えてつな  
がり、交流を深める  
ことができました。

さらに、地区内  
外から民謡愛好家  
の方々も参加し会  
場を盛り上げまし  
た。

フィナーレまで  
踊りきった参加者  
からは拍手が巻き  
起こり、清々しい  
笑顔が見られまし  
た。

つながり  
06

# 地域×地域 『たかとり盆踊りの夕べ』 8/5(土)



▲大関まちづくり協議会、大関コミュニティセンター  
のみなさん、ようこそ！

昭和の黄金時代に板倉分校をフィールドに青  
年団で行われていた「民謡の夕」が復活して2  
年、盆踊りを中心に地区の一大イベントである  
夏まつりを開催しました。酷暑のなか予想以上  
の来場者でにぎわい、提灯に照らされた櫓(や  
ぐら)の下には、人々が大きな輪を作った盆踊  
りを楽しみました。また、お目当てのキッチン  
カーには家族連れなどが長い列を作り大盛況で  
した。



# たかとり花いっぱい物語

人と人のふれあいを大切にしている たかとりの郷づくり協の活動の一つに、「花いっぱい事業」があります。この活動の中に私たちが目指す“まちづくりの姿”がありました。



## 花いっぱいサークルとは

### フロロク

『私たちは、かんきょう部会のおぼちゃんたちです！』と、花の交流会でもみじごも園の子ともたちに自己紹介しても、そもそも「かんきょう」が何のことか分かってもらえないよねえ……こんなつぶやきがきっかけでした。そこで、今年度から「かんきょう部会」という看板とは別に「花いっぱいサークル」という愛称を使って、自己紹介や活動を行うことにしました。

さて、「花いっぱいサークル」は、4月の中頃に高棟東部コミセンで地区推進委員さんと一緒に、花壇の草取りと種まき活動を行いました。参加人数は昨年より増え、新しい仲間とともに活気あふれる楽しい活動となりました。



## 花いっぱいサークル

### 第1章

さて、まいた種が芽がでずに不安を感じているなか、5月の中頃にはせっかく出てきた小さな芽が全滅してしまったのです。さて、どうしましょう！

7月には、もみじごも園と明章小学校に出向き、かわいい園児たちや元気いっばいの児童の皆さんと花の交流会があります。

8月には坂井市花壇コンクルの審査を控えています。同じく8月には、高棟東部の全地区にも花苗を届ける計画を立てています。

そんな中で花苗の全滅です。まさに、お先真っ暗の状況でした。



## 愛の花いっぱい

### 第2章

この大失敗の現実もサークルメンバーからは、「やっついことも、たまにはありますよ」「水、陽、愛情をかけたのに残念だけど、次の手を考えます」「失敗することもあれば、自然が相手だからね。気を取り直して、花を咲かせましょうね」と前向きです。

するとなぜか「もう一回、種まきから始めればいいじゃないか」と、心のスイツチオン。

その後、サークルメンバーで奥総合グリーンセンター花の相談所へ、花の苗が全滅した原因 について聞きに行きました。後日、作業終了後にお茶を飲みながら、聞いてきたことをもとにみんな話合いました。



## 花づくりに通じて

### 第3章

花苗の全滅後、メンバーから「自宅に花苗があるので、使えばいいよ」との連絡を受けました。また、5月の中頃に新たにまいた種が順調に育ってくれました。こうして不思議なことに、結果的には計画していたよりも半月も早く、コミセン花壇に花を植えることが出来たのです。

また、もみじごも園と明章小学校への花の交流会活動や各地区への花苗の配布活動も無事めどが立ちました。

ある日、メンバーの一人が言いました。「今日もたくさんしゃべって楽しかったのお。こんなにしゃべってばかりでいいんやろか」

この問いかけに、「それが一番いいんやば。この会は、みんなでしゃべって笑って、楽しむのが一番の目的やで」と答えました。

## おピローク

私たちは花づくりを通して、人と人の和づくりを目指しています。花いっぱいサークルでは、話がいっぱい、笑いがいっぱい、仲間がいっぱい、いいことがいっぱい、ドキドキもいっぱい、失敗もいっぱい……そして、お助けマンもいっぱいいます。

これが私たち、『花いっぱいサークル』です。あなたも、花いっぱいサークルの活動に参加してみませんか？



問い合わせ・申し込みは、高棟東部コミセンまで

※実際のイベントをもとにしています。